

手指衛生啓発ビデオを作成しました

感染制御部

3月23日に感染制御部と大阪大学クリエイティブユニット*で制作した手指衛生啓発ビデオがYouTubeで公開されました。撮影に際しては、様々な部署の皆さんにもご協力頂いています。ご協力いただいた部署のスタッフの方々に御礼申し上げます。

この動画の中では、院内感染対策で最も重要なことは手指衛生であると訴えるとともに、手指衛生を実施する際の6つのポイント(1分48秒から)と、手指衛生を行うべき5つのタイミング(4分24秒から)について解説していますので、皆さん是非ご覧ください。



動画を見るには…

<https://www.youtube.com/watch?v=gwDwOYve8AA>
上記URLをブラウザにコピーしていただくか、「大阪大学 手指衛生 動画」で検索して下さい。

*大阪大学クリエイティブユニットとは、大阪大学の公式ホームページの管理や大阪大学のブランド力の向上を目的とした広報戦略を企画・実行する組織です。

ICTラウンドでは手指衛生実施の観察を強化しました

平成29年度は院内感染対策の重点項目として、「手指衛生意識の向上」を掲げ、ICTラウンドで確認しました。WHOは患者ケアにおける手指衛生の推奨ポイントを「5つのタイミング」と解説していますが、そのうちの、「患者への接触前」、「患者への接触後」、「患者周囲環境(カーテン含む)への接触後」の3つを直接観察しています。

当院の手指衛生の回数は毎年増加傾向にありますが、ICUやNICUなど特定の部署での回数増加が目立ち、一般病棟ではまだまだ少ない状況です。また、回数と同様に手指衛生を適切なタイミングで行うことも大切なことですので、遵守率についても、ICTラウンド時に観察した記録を病棟別、職種別データとしてまとめています。病棟別ではNICUやICUで遵守率が高く、一般病棟では低くなっています。職種別では医師の遵守率が低い傾向にあります。診察前後や処置前後での手指衛生が不十分だと、医師が媒介者となってMRSAなどの薬剤耐性菌を病棟に拡散してしまいますので、各診療科でリンクドクターを中心に手指衛生の意識向上の取り組みを、お願いいたします。また、医師よりは遵守率が高いとはいえ、看護師の遵守率もまだまだ低い水準です。



まもなく新年度となり各部署で新採用者が配属されます。各部署での専門的な教育に加えて、手指衛生が医療者としての自然な振る舞いとなるように、ご指導をお願いいたします。